

水産物の市況について(令和元年8月及び令和元年9月)

—東京都中央卸売市場における令和元年8月(令和元年7月21日～令和元年8月20日集計)の市況と、
令和元年9月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年8月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、さんま・まあじ・さば・するめいか等不漁の魚種が多いことから全体では強含みに推移しました。

II 令和元年9月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、鮮魚向けとなる大型魚の漁獲が減ったことからやや減少すると見込まれ、さらに競合するさんまの漁獲が低調なことから、卸売価格は、強含むと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれるものの、消費が鈍っていることから、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、減少すると見込まれ、卸売価格は、強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮物の入荷量は、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。冷凍物の入荷量は、生鮮物の不足を補うために冷凍在庫が市場に出回ることからやや増加すると見込まれるものの、するめいかの不漁が続くことから、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、減少すると見込まれ、卸売価格は、強含むと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれるものの、高値が長期間続いたことから、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、新物の水揚げが下旬から増えると見込まれ、さらに新物が単価の安い中小型魚主体であることから、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	8月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	28	1,146	32	1,070	33	1,073
前年	29	1,128	33	1,086	30	1,099

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	8月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	505	156	96	99
さけ・ます(平均)	956	96	90	102
(ぎんざけ塩蔵品)	1,041	99	103	110
(あきさけ塩蔵品)	828	104	111	102
(ときさけ塩蔵品)	1,117	95	104	117
(べにざけ塩蔵品)	1,399	102	104	124
(さけ類冷凍品)	856	79	88	62
さば(生鮮品)	494	114	105	106
するめいか(平均)	705	109	95	115
(生鮮品)	654	107	90	104
(冷凍品)	944	101	114	166
あじ(生鮮品)	703	121	100	107
さんま(生鮮品)	788	177	87	92
まぐろ(冷凍品)	1,474	99	91	98
(めばち冷凍品)	1,056	98	91	99
(きはだ冷凍品)	749	94	73	73
(くろまぐろ冷凍品)	3,007	96	92	84
(みなみまぐろ冷凍品)	2,145	105	108	103
かつお(生鮮品)	598	128	114	100

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:8月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26～30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612